

## IV-4 介護支援専門員実務研修受講試験並びに実務研修・ 現任研修等事業報告

### 1. 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

- (1) 試験日時 平成19年10月28日(日) 午前10時から12時まで  
 (2) 試験実施会場 秋田県立大学本荘キャンパス、秋田県立秋田西高等学校、秋田県議会棟正庁、秋田県庁第二庁舎  
 (3) 試験実施結果 受験者数 1,719名 合格者 350名(合格率20.4%)

平成14年度から平成19年度までの合格者及びその内訳は次のようになっております。

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
受験者総数(人)	983	1,192	1,342	1,563	1,613	1,719
合格者(人)	284	298	372	348	325	350
合格率(%)	28.9	25.0	27.7	22.3	20.1	20.4
全国平均(%)	(30.7)	(30.7)	(30.2)	(25.6)	(20.5)	(22.8)

合格者累計 4,200人

①職種別				
	16年	17年	18年	19年
医師	0	0	1	0
歯科医師	0	0	0	0
薬剤師	4	7	1	2
保健師	11	7	5	6
助産師	2	0	1	0
看護師	81	83	31	34
准看護師	20	16	6	12
理学療法士	1	1	1	1
作業療法士	4	6	3	3
社会福祉士	11	9	8	13
介護福祉士	189	174	234	245
視能訓練士	0	1	0	0
義肢装具士	0	0	0	0
歯科衛生士	10	7	6	6
言語聴覚士	1	1	0	0
あん摩マッサージ指圧師 はり師・きゅう師	2	1	0	0
柔道整復師	3	0	0	0
栄養士 (管理栄養士を含む)	5	1	2	3
精神保健福祉士	2	3	2	2
相談援助業務	15	25	22	14
介護等業務	11	6	2	9
計	372	348	325	350

(人)

②地域別(勤務先による)				
	16年	17年	18年	19年
県北	69	87	76	90
中央	174	165	151	151
県南	129	96	98	109
計	372	348	325	350

(人)

③性別				
	16年	17年	18年	19年
男性	65	69	83	90
女性	307	279	242	260
計	372	348	325	350

(人)

④年代別				
	16年	17年	18年	19年
20代	121	103	90	79
30代	116	112	100	119
40代	94	91	77	99
50代	38	38	52	47
60代	3	4	6	6
70代	0	0	0	0
計	372	348	325	350

(人)

## 2. 介護支援専門員実務研修の実施

### (1) 実務研修の目的

介護保険制度の適切かつ円滑な運営に資するため、必要な知識、技能を有する介護支援専門員の養成を図ることを目的として実施した。

### (2) 実施主体

秋田県知事が指定した財団法人秋田県長寿社会振興財団

### (3) 受講対象者（356名）

平成19年度（第10回）介護支援専門員実務研修受講試験合格者（350名）  
平成18年度（第9回）試験合格者のうち延期願いが提出されていたもの（4名）  
実務研修受講地の移動者（他県から2名）

### (4) 研修期間、回数、期日等

	期 間	組	期 日	会 場
前 期 研 修	3 日 間	1 組 2 組 3 組	平成 20 年 1 月 11 日(金)～ 13 日(日) 平成 20 年 1 月 18 日(金)～ 20 日(日) 平成 20 年 1 月 25 日(金)～ 27 日(日)	中央シルバーエリア
後 期 研 修	4 日 間	1 組 2 組 3 組	平成 20 年 2 月 15 日(金)～ 16 日(土) 22 日(金)～ 23 日(土) 平成 20 年 2 月 29 日(金)～ 3 月 1 日(土) 3 月 7 日(金)～ 8 日(土) 平成 20 年 3 月 14 日(金)～ 15 日(土) 21 日(金)～ 22 日(土)	中央シルバーエリア

### (5) 研 修 内 容

前期3日、後期4日の計45時間の研修を実施。

前期研修と後期研修の間に、要介護認定のための訪問調査や課題分析・居宅サービス計画原案作成について実習を行った。

〔実務研修の主な内容〕

- ① 介護保険制度の基本理念、介護支援専門員の基本姿勢等
- ② 介護支援サービスの基本、基礎技術・展開技術、要介護認定等の基礎
- ③ 対人援助技術、課題分析・居宅サービス計画に関する専門的知識及び技術
- ④ 地域包括支援センターの概要、介護予防給付マネジメント

### (6) 講 師

介護支援専門員指導者及び県内ケアマネジメントリーダー並びに主任介護支援専門員等・県担当者

### (7) 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者に対し、修了証明書が交付されました。（354名）

秋田県内では、この10年間で4, 196名が実務研修を修了している。

# 平成19年度 秋田県介護支援専門員実務研修 前期 研修日程

1組 1/11~13  
 2組 1/18~20  
 3組 1/25~27

9:30		10:00		10:15		11:15		12:15		13:15		14:15		15:15		17:15	
1 日 目	受付	開 講 接 拶 オ リ エン テ ー シ ョ ン	介護保険制と 理念と専 門（講義）		要介護認定 等の基礎 （講義）		昼 食 ・ 休 憩		介護保険制と 理念と 介護支援専 門（講義）		要介護認定 等の基礎 （講義）		介護支援サービスの基本 （ケアマネジメントの基本） （講義）				
			【県担当者】		【県担当者】				【介護支援専門員指導者】		【介護支援専門員指導者】		【介護支援専門員指導者】				
9:30		10:30		12:30		13:30		17:30									
2 日 目	受付及び相談と 契約 （講義）		アセスメント、ニーズの把握 方法（講義）				昼 食 ・ 休 憩		アセスメント、ニーズの把握方法 （演習）								
	【介護支援専門員指導者】		【介護支援専門員指導者】						【介護支援専門員指導者】								
9:30		11:30		12:30		13:30		16:30		17:30							
3 日 目	居宅サービス計画等の作成 （講義）				居宅サービ ス計画等の 作成 （演習）		昼 食 ・ 休 憩		居宅サービス計画等の作成 （演習）				実習オリ エンテ ーシ ョ ン				
	【介護支援専門員指導者】				【介護支援専門員指導者】				【介護支援専門員指導者】								

# 平成19年度 秋田県介護支援専門員実務研修 後期 研修日程

1組 2/15～16、22～23  
 2組 2/29～3/1、7～8  
 3組 3/14～15、21～22

9:00 9:30		11:30 12:30		16:30	
1 日 目	受付	地域包括支援センターの概要 (講義)  【介護予防支援指導者修了者】	昼食 ・ 休憩	相談面接技術の理解 (講義)  【介護支援専門員指導者等】	
9:30		12:30 13:30		16:30	
2 日 目		アセスメント、居宅サービス計画作成演習  【介護支援専門員指導者】	昼食 ・ 休憩	アセスメント、 居宅サービス計画作成演習  【介護支援専門員指導者】	
9:30		12:30 13:30		17:30	
3 日 目		介護予防支援 (ケアマネジメント) (講義)  【介護予防支援指導者修了者】	昼食 ・ 休憩	介護予防支援 (ケアマネジメント) (演習)  【介護予防支援指導者修了者】	
9:30		12:30 13:30		15:30 16:30	
4 日 目		チームアプローチ演習 (演習)  【介護支援専門員指導者】	昼食 ・ 休憩	モニタリングの方法 (講義)  【介護支援専門員指導者】	意見交換 講 評  修了式 修了証明書交付 閉講挨拶

平成19年度介護支援専門員実務研修演習指導講師一覧

1 組目 中央シルバーエリア（多目的ホール）20グループ	
前期研修 平成20年1月12日(土)～13日(日)	後期研修 平成20年2月16日(土)・23日(土)
2日目 1月12日(土)(10:30～17:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、ニーズの方法」 3日目 1月13日(日)(9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「居宅サービス計画等の作成」	2日目 2月16日(土)(10:15～17:15) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、居宅サービス計画等作成演習」 4日目 2月23日(土)(9:30～15:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の展開技術 「チームアプローチ」 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「モニタリング」
演習指導者リーダー：湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平 京子	
(有)よろ津や 取締役副社長 佐藤 俊一	(有)よろ津や 取締役副社長 佐藤 俊一
特別養護老人ホーム 平寿苑 施設長 鈴木 卓	特別養護老人ホーム 平寿苑 施設長 鈴木 卓
土崎居宅介護支援事業所 管理者 関谷 重昭	土崎居宅介護支援事業所 管理者 関谷 重昭
八橋地域包括支援センター社協 副管理者 阿部 奈穂美	八橋地域包括支援センター社協 副管理者 阿部 奈穂美
飯川病院 看護師長 鎌田 百合子	飯川病院 看護師長 鎌田 百合子
2 組目 中央シルバーエリア（多目的ホール）20グループ	
前期研修 平成20年1月19日(土)～20日(日)	後期研修 平成20年3月1日(土)・3月8日(土)
2日目 1月19日(土)(10:30～17:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、ニーズの方法」 3日目 1月20日(日)(9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「居宅サービス計画等の作成」	2日目 3月1日(土)(10:15～17:15) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、居宅サービス計画等作成演習」 4日目 3月8日(土)(9:30～15:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の展開技術 「チームアプローチ」 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「モニタリング」
演習指導者リーダー：(株)みらい 代表取締役 石川 佐智子 氏	
大仙市社会福祉協議会東部介護ステーション 居宅介護支援事業所 管理者 小笠原 深幸	大仙市社会福祉協議会東部介護ステーション 居宅介護支援事業所 管理者 小笠原 深幸
羽後町地域包括支援センター 参事 佐々木 生久夫	羽後町地域包括支援センター 参事 佐々木 生久夫
羽後町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所 管理者 佐々木 尚敏	羽後町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所 管理者 佐々木 尚敏
鹿角市地域包括支援センター 福本 雅治	鹿角市地域包括支援センター 福本 雅治
秋田県厚生連農業協同組合連合会 あきた指定居宅介護支援事業所 管理者 小松 きよ子	秋田県厚生連農業協同組合連合会 あきた指定居宅介護支援事業所 管理者 小松 きよ子
3 組目 中央シルバーエリア（多目的ホール）18グループ	
前期研修 平成20年1月26日(土)～27日(日)	後期研修 平成20年3月15日(土)・22日(土)
2日目 1月26日(土)(10:30～17:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、ニーズの方法」 3日目 1月27日(日)(9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「居宅サービス計画等の作成」	2日目 3月15日(土)(10:15～17:15) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、居宅サービス計画等作成演習」 4日目 3月22日(土)(9:30～15:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の展開技術 「チームアプローチ」 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「モニタリング」
演習指導者リーダー：特別養護老人ホーム借生園 施設長 佐藤 哲彦 氏	
大館市比内福祉センター比内ふくし会 管理者 荒谷 博美	大館市比内福祉センター比内ふくし会 管理者 荒谷 博美
(有)よろ津や 取締役副社長 佐藤 俊一	(有)よろ津や 取締役副社長 佐藤 俊一
湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長補佐 阿部 透	湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長補佐 阿部 透
(社)秋田県看護協会居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 山崎 弘子	湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平 京子
やすらぎの郷 施設長 武田 喜代子	やすらぎの郷 施設長 武田 喜代子

(敬称；省略)

### 3. 介護支援専門員現任研修（実務従事者基礎研修、専門研修）の実施

#### ●介護支援専門員実務従事者基礎研修

##### (1) 目的

介護支援専門員として一定の実務を経験した後に、実務従事者として必要な技術・技能の研鑽を図ることで、介護支援専門員の実務能力の向上を図ることを目的として実施した。

##### (2) 実施主催

財団法人秋田県長寿社会振興財団（LL財団）

##### (3) 対象者

介護支援専門員としての実務に携わっている者で実務就業後1年未満の方全員。

##### (4) 研修期日・会場

実務従事者基礎研修（4日間）

地区別	組	期 日	会 場	受講者数
全県対象	1組	平成19年9月 7日（金）	中央シルバーエリア	133名
		9月11日（火）		
		9月12日（水）		
		9月13日（木）		
	2組	平成19年10月18日（木）	中央シルバーエリア	120名
		11月 1日（木）		
11月 2日（金）				
		11月 3日（土）		

##### (5) 研修内容

研修内容		研修目的
第1日目	介護保険制度についての行政説明	これからの研修体系や地域密着型サービス・地域包括支援センターについての説明。
	ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	机上の実務研修内容を就業後の実践に照らして確認することにより重要な倫理を会得する。
第2日目	ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方	ケアマネジメントの各プロセスの担う役割、目的を再確認するとともに重要性を理解する。また、各自の実践を省みることにより問題点・課題を認識する。
	ケアマネジメント点検演習	自ら担当している事例を持ち寄り、アセスメントの手法や策定したケアプランについて点検し、問題点・課題を明確にして改善方策を見出す。
第3日目	ケアマネジメント点検演習	自ら担当している事例のアセスメントの手法や策定したケアプランについて点検し、問題点・課題を明確にして改善方策を見出す。
第4日目	ケアマネジメント演習講評	演習の結果を踏まえ今後の改善点を考察する。
	研修を振り返っての意見交換、ネットワーク作り	ケアマネジメントの原則に沿った実践を行うための決意を醸成する。

(6) 指導講師  
県担当者、介護支援専門員指導者、ケアマネジメントリーダー等

(7) 受講者数  
1組 133名(修了者133名に修了証明書を交付)  
2組 120名(修了者118名に修了証明書を交付)

●介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅰ・専門研修課程Ⅱ)

(1) 目的

現任の介護支援専門員に対して、一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識、技能の習得を図ることにより、その専門性を高め、もって介護支援専門員の資質向上を図ることを目的として実施した。

(2) 実施主催

財団法人秋田県長寿社会振興財団(ＬＬ財団)

(3) 対象者

専門研修課程Ⅰ 原則として、介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後6ヶ月以上の方

専門研修課程Ⅱ 原則として、介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後3年以上の方

(4) 研修期日・会場

専門研修課程Ⅰ(6日間)

	組	期 日	会 場	受講者数
全県対象	1組	平成19年6月12日(火)～14日(木) 21日(木)～22日(金) 24日(日)	中央シルバーエリア	154名
県北対象	2組	平成19年6月19日(火)～21日(木) 7月3日(火)～5日(木)	北部シルバーエリア	78名
全県対象	3組	平成19年8月7日(火)～9日(木) 21日(火)～23日(木)	中央シルバーエリア	149名

専門研修課程Ⅱ(3日間)

	組	期 日	会 場	受講者数
県北対象	1組	平成19年7月12日(木)～14日(土)	北部シルバーエリア	53名
全県対象	2組	平成19年7月19日(木)～21日(土)	中央シルバーエリア	131名
全県対象	3組	平成19年9月4日(火)～6日(木)	中央シルバーエリア	143名

(5) 研修内容

◆専門研修課程Ⅰ

研修内容		研修事項
第1日目	介護保険制度論	介護保険制度に対する理解・認識を深める。
	ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	実際の業務に照らして確認することにより重要な倫理を会得する。
	ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方	ケアマネジメントの各プロセスの担う役割、目的を再認識するとともに重要性を理解する。また、各自の実践を省みることにより問題点・改善点を認識して改善方を導き出す。
第2日目	対人個別援助技術 ソーシャルケースワーク（講義）	対人援助における面接・コミュニケーション技法のレベルアップを図る。
	対人個別援助技術 ソーシャルケースワーク（演習）	対人援助における面接・コミュニケーション技法のレベルアップを図る。
第3日目	対人個別援助技術 ソーシャルケースワーク（演習）	対人援助における面接・コミュニケーション技法のレベルアップを図る。

選択科目①～④（これらの中から3つ以上選択する）

研修内容		研修事項
第3日目	選択科目① 保健医療福祉の基礎理解 「認知症高齢者・精神疾患」	認知症高齢者や精神疾患を持つ人への対処方法を学ぶ。
第4日目	選択科目② サービスの活用と連携 「介護保険施設・認知症対応型 共同生活介護・特定施設入居者 生活介護」	サービス内容を再確認するとともに、自立支援に即した適正なサービスの活用方法と連携の方法を学ぶ。
	選択科目③ サービスの活用と連携 「居宅療養管理指導」	サービス内容を再確認するとともに、自立支援に即した適正なサービスの活用方法と連携の方法を学ぶ。
第5日目	選択科目④ サービスの活用と連携 「通所介護・通所リハビリテー ション」	サービス内容を再確認するとともに、自立支援に即した適正なサービスの活用方法と連携の方法を学ぶ。

必修科目（すべて受講しなければならない）

研修内容		研修事項
第5日目	必修科目 保健医療福祉の基礎理解 「社会資源活用」	要介護高齢者が活用しうる社会資源や、関係機関等との連携方を学ぶ。
第6日目	必修科目 保健医療福祉の基礎理解 「人格の尊重及び権利擁護」	権利擁護を担う介護支援専門員の基本姿勢を確認するとともに、高齢者の権利擁護策について認識を深める。
	必修科目 保健医療福祉の基礎理解 「高齢者の疾病と対処及び主治 医との連携」	要介護高齢者の疾病の特徴とその対処法（治療・介護）、医療関係者との連携方法を学ぶ。

◆専門研修課程Ⅱ

研修内容		研修事項
1 日 目	介護支援専門員の課題①	介護保険制度に対する理解・認識を深める。
	介護支援専門員の課題②	介護サービスとケアマネジメントの課題を踏まえ、介護支援専門員の基本姿勢を再確認する。
	サービス担当者会議演習	サービス担当者会議の運営方法、職種間の連携方法に習熟する。
2 日 目	「居宅介護支援」事例研究	自立支援、利用者本位の観点に基づく居宅サービス計画作成の視点・方法を学ぶ。
	「施設介護支援」事例研究	自立支援、利用者本位の観点に基づく居宅サービス計画作成の視点・方法を学ぶ。
3 日 目	「居宅介護支援」演習	作成した居宅サービス計画を持ち寄り、相互に意見交換しながら、支援困難事例を含む多様なケースを課題分析し居宅サービス計画の作成に習熟する。モニタリング、再アセスメント、居宅サービス計画変更の課程を学ぶ。サービス担当者会議におけるサービス事業者などとの連携方法を学ぶ。
	「施設介護支援」演習	作成した居宅サービス計画を持ち寄り、相互に意見交換しながら、生活の質の向上及び継続性、在宅復帰の可能性等の施設特有の課題分析と施設サービス計画の作成に習熟する。モニタリング、再アセスメント、施設サービス計画変更の過程を学ぶ。施設における職種間の連携方法、施設外の資源の活用と連携方法を学ぶ。グループ事例検討の方法を学ぶ。

(6) 指導講師

①専門研修課程Ⅰ

県担当者、県介護支援専門員連絡協議会、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県社会福祉士会等

②専門研修課程Ⅱ

県介護支援専門員連絡協議会、主任介護支援専門員、ケアマネジメントリーダー等

(7) 受講者数

①専門研修課程Ⅰ

1組 154名 (修了者152名に修了証明書を交付)

2組 78名 (修了者76名に修了証明書を交付)

3組 149名 (修了者146名に修了証明書を交付)

②専門研修課程Ⅱ

1組 53名 (修了者53名に修了証明書を交付)

2組 131名 (修了者129名に修了証明書を交付)

3組 143名 (修了者144名に修了証明書を交付)

#### 4. 主任介護支援専門員研修

##### (1) 目的

介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を習得することを目的として実施した。

##### (2) 実施主催

財団法人秋田県長寿社会振興財団（LL財団）

##### (3) 対象者

介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験を有する介護支援専門員とする。  
具体的には、以下①から③のいずれかに該当し、かつ「介護支援専門員専門研修実施要綱」に基づく専門研修課程Ⅰ及び専門研修課程Ⅱ又は「介護支援専門員更新研修実施要綱」に基づく実務経験者に対する介護支援専門員更新研修を修了した者（平成19年度は更新研修に該当する受講者がいないので、秋田県では実施しません。）とする。

- ① 専任の介護支援専門員として従事した期間が通算して5年（60ヶ月）以上である者（ただし、管理者との兼務は期間として算定できるものとする。）
- ② 「ケアマネジメントリーダー活動支援事業実施及び推進について」に基づくケアマネジメントリーダー養成研修を修了したもの又は日本ケアマネジメント学会が認定する認定ケアマネジャーであって、専任の介護支援専門員として従事した期間が通算して3年（36ヶ月）以上である者（ただし、管理者との兼務は期間として算定できるものとする。）
- ③ 主任介護支援専門員に順ずる者として、現に地域包括支援センターに配置されている者とする。

##### (4) 研修期日・会場

主任介護支援専門員研修（9日間）

	期 日	会 場	受講者数
全県対象	平成19年9月26日（水）～27日（木） 10月 7日（日）～ 8日（月） 10月16日（火） 11月16日（金）～17日（土） 11月21日（水）～22日（木）	中央シルバーエリア	97名

##### (5) 研修内容

	研修内容	研修事項
1 日 目	介護保険制度について 行政説明	介護保険制度や介護サービスを巡る諸課題についての講義。
	主任介護支援専門員の役割と視点 （地域包括支援センターの運営を 含む）の関する講義	主任介護支援専門員が業務を行う上で必要な心構え、知識、技能の習得を図る。
	サービス展開における リスクマネジメント	再発防止の為には組織全体で事故の背景、要因を明らかにして分析し対策を講じることの重要性を理解し、リスクマネジメントの目的、取り組み方を会得する。

2 日 目	ケアマネジメントと 介護支援専門員の倫理	机上の実務研修内容を就業後の実践に照らして確認することにより重要な倫理を会得する。
	人事・経営管理	事業所の適正な運営を図るための「経営管理」「人事管理」に関する基礎知識の会得を図る。
3 日 目	対人援助者監督指導 (スーパービジョン)	人材育成の方法であるスーパービジョン（対人援助者監督指導論）の内容を理解し、実践できる技能を身につける。
4 日 目		
5 日 目	地域援助技術	地域において住民が自立した生活をおくれるよう自立生活支援を目的とした地域福祉の推進を構築するための基礎となる地域援助技術（コミュニティワーク）機能の理解と実践的な技術・手法について学ぶ。
6 日 目	事例研究及び事例指導方法	単に事例研究を行うのではなく、支援困難事例を含めた事例の各ポイントをわかりやすく指導、説明できる技能を会得する。
7 日 目		
8 日 目		
9 日 目	ターミナルケア	「ターミナルケア」の現状・課題等について認識するとともに介護支援専門員の関わり方について学ぶ。あわせて要介護高齢者に多い疾病についても学ぶ。

(6) 指導講師

県担当者、学識経験者等

○ケアタウン総合研究所 所長 高室成幸 氏

○郡山ソーシャルワーカーズオフィス 代表 吉田光子 氏

○NPO法人在宅緩和支援センター“虹” 代表理事 中山康子 氏

(7) 受講者数

97名（修了者97名に修了証明書を交付）

平成19年度 介護支援専門員研修（実務従事者基礎研修、専門研修課程Ⅰ・Ⅱ、主任介護支援専門員研修）講師一覧

①実務従事者基礎研修

期 日	介護保険制度についての行政説明	ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方	ケアマネジメント点検演習・研修を振り返っての意見交換、ネットワーク作り
<p>1組目 9月 7日（金） 11日（火） 13日（木）</p> <p>2組目 10月18日（木） 11月 1日（木） 11月 3日（土）</p>	<p>（講義）</p> <p>1組目・2組目共通</p> <p>県長寿社会課 介護保険班 担当者</p>	<p>（講義）</p> <p>1組目・2組目共通</p> <p>秋田看護福祉大学 社会福祉学科 教授 柴田 博</p>	<p>（講義）</p> <p>1組目 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 施設長 佐藤哲彦</p> <p>2組目 （株）みらい 代表取締役 石川佐智子</p>	<p>1組目 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦 八橋地域包括支援センター社協 副管理者 阿部奈穂美 （有）よろ津や 取締役副社長 佐藤俊一 大仙市地域包括支援センター 副主幹 小松京子 飯川病院 看護師長 鎌田百合子 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平京子 （株）虹の街 やすらぎの郷 施設長 武田喜代子 横手市地域包括支援センター 主任介護支援専門員 伊藤奈穂子 羽後町地域包括支援センター 参事 佐々木生久夫 （有）よろ津や 代表取締役 石川佐智子 羽後町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所 管理者 佐々木尚敏 県看護協会居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 山崎弘子 介護老人保健施設三楽園 相談室室長 関谷重昭 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長補佐 阿部 透 厚生連居宅介護支援事業所 管理者 小松きよ子</p> <p>2組目 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平京子 羽後町地域包括支援センター 参事 佐々木生久夫 大仙市社会福祉協議会東部介護ステーション 居宅介護支援事業所 管理者 小笠原深幸 （株）みらい 代表取締役 石川佐智子 土崎居宅介護支援事業所 管理者 関谷重昭 （株）虹の街 やすらぎの郷 施設長 武田喜代子 八橋地域包括支援センター社協 副管理者 阿部奈穂美 （有）よろ津や 取締役副社長 佐藤俊一 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦 鹿角市地域包括支援センター 福本雅治 羽後町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所 管理者 佐々木尚敏 特別養護老人ホームすこやか横手 生活相談員 綿貫 哲 能代市地域包括支援センター 所長 松田かよ子 県看護協会居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 山崎弘子 特別養護老人ホーム平寿苑 施設長 鈴木 卓 なごみ居宅介護支援センター 管理者 小原秀和</p>

（敬称；省略）

②専門研修課程 I

期 日	介護保険制度論	ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方	対人個別援助技術 (ソーシャルケースワーク)	選択科目 保健医療福祉の基礎理解 認知症高齢者・精神疾患	選択科目 サービスの活用と連携 介護保険施設・認知症対応型 共同生活介護・特定施設入居者生活介護
<p>1組目 6月12日(火) }  14日(木) 21日(木) }  22日(金) 24日(日)</p> <p>2組目 6月19日(火) }  21日(水) 7月3日(火) }  5日(木)</p> <p>3組目 8月7日(火) }  9日(木) 21日(火) }  23日(木)</p>	<p>(講義)</p> <p>1組目・2組目 ・3組目共通</p> <p>県長寿社会課 介護保険班 担当者</p>	<p>(講義)</p> <p>1組目・2組目・3組目 共通</p> <p>秋田県介護支援専門員 連絡協議会 会長 福本雅治</p>	<p>(講義)</p> <p>1組目・2組目</p> <p>特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦</p> <p>3組目 (有)よろ津や 代表取締役 石川佐智子</p>	<p>(講義・演習)</p> <p>1組目</p> <p>特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦</p> <p>2組目・3組目</p> <p>特別養護老人ホーム平成園 施設長 栗林孝得</p>	<p>(講義)</p> <p>1組目</p> <p>秋田大学医学部附属病院 精神運動器学講座精神科学 分野 助教 菅原純哉</p> <p>秋田大学医学部保健学科 臨床看護学講座 助教 猪股祥子</p> <p>2組目</p> <p>大館市立総合病院神経精神 科 部長 平野敬之</p> <p>3組目</p> <p>秋田大学医学部附属病院精 神運動器学講座精神科学 分野 助教 菅原純哉</p> <p>秋田大学医学部保健学科 臨床看護学講座 助教 猪股祥子</p>	<p>(講義)</p> <p>1組目</p> <p>高齢者グループホームふれあい荘 管理者 半田智寿子</p> <p>特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦</p> <p>2組目</p> <p>介護老人保健施設湖東老健 事務長 鈴木 学</p> <p>複合ケアセンターもりの郷 センター長 松橋照己</p> <p>3組目</p> <p>グループホームすずらん 稲川 管理者 大山育子</p> <p>特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦</p>

(敬称；省略)

期 日	選択科目 サービスの活用と連携 居宅療養管理指導	選択科目 サービスの活用と連携 通所介護・通所リハビリテー ション	保健医療福祉の基礎理解 社会資源活用	保健医療福祉の基礎理解 人権尊重及び権利擁護	保健医療福祉の基礎理解 高齢者の疾病と対処及び主治医と の連携
<p>1組目 6月12日(火) }  14日(木) 21日(木) }  22日(金) 24日(日)</p> <p>2組目 6月19日(火) }  21日(水) 7月3日(火) }  5日(木)</p> <p>3組目 8月7日(火) }  9日(木) 21日(火) }  23日(木)</p>	<p>(講義)</p> <p>1組目・2組目・3組目共通</p> <p>秋田県歯科医師会 理事 畠山桂郎</p> <p>秋田県薬剤師会 理事 畠中 岳</p>	<p>(講義)</p> <p>1組目・3組目</p> <p>(有)よろ津や 代表取締役 石川佐智子</p> <p>2組目 介護老人保健施設いこいの里 介護支援専門員 阿部 充</p>	<p>(講義)</p> <p>1組目・2組目・3組目共通</p> <p>ひだまりケアサービスセンター 地域管理責任者 米谷恭一</p>	<p>(講義)</p> <p>1組目・2組目・3組目共通</p> <p>秋田県社会福祉士会 副会長 荒谷博美</p>	<p>(講義・演習)</p> <p>1組目 渡辺整形外科医院 院長 渡辺一夫 中央地区介護支援専門員協議会 理事 山崎弘子</p> <p>2組目 高橋彰彦内科医院 院長 高橋彰彦 根田内科医院 院長 根田芳昌</p> <p>中央地区介護支援専門員協議会 理事 山崎弘子</p> <p>3組目 南秋田整形外科医院 院長 小玉弘之 県南地区介護支援専門員協議会 副会長 佐々木生久夫</p>

(敬称；省略)

③専門研修課程Ⅱ

期 日	介護支援専門員の課題①	介護支援専門員の課題②	サービス担当者会議演習	居宅・施設介護支援事例研究
<p>1組目 7月12日(木) ? 14日(土)</p> <p>2組目 7月19日(木) ? 21日(土)</p> <p>3組目 9月4日(火) ? 6日(木)</p>	<p>(講義)</p> <p>1組目・2組目・3組目共通</p> <p>県長寿社会課 介護保険班 担当者</p>	<p>(講義)</p> <p>1組目・2組目 県介護支援専門員連絡 協議会 会長 福本雅治</p> <p>3組目 中央地区介護支援専門員 協議会 会長 岩谷淳志</p>	<p>(講義・演習)</p> <p>1組目 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦</p> <p>2組目 (有)よろ津や 取締役相談役 石川佐智子</p> <p>3組目 湯沢市複合老人福祉施設 いさみが岡 施設長 赤平京子</p>	<p>1組目 (居宅介護支援事例研究) (有)よろ津や 取締役相談役 石川佐智子 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平京子 大館市比内福祉センター比内ふくし会 管理者 荒谷博美 秋田看護福祉大学看護福祉学部社会福祉学科 助教 児玉寛子</p> <p>1組目 (施設介護支援事例研究) 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦</p> <p>2組目 (居宅介護支援事例研究) (有)よろ津や 取締役相談役 石川佐智子 (有)よろ津や 取締役副社長 佐藤俊一 大仙市地域包括支援センター 副主幹 小松京子 羽後町地域包括支援センター 参事 佐々木生久夫 大仙市社会福祉協議会東部介護ステーション 居宅介護支援事業所 小笠原深幸</p> <p>2組目 (施設介護支援事例研究) 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長補佐 阿部 透 県看護協会居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 山崎弘子</p> <p>3組目 (居宅介護支援事例研究) 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平京子 (有)よろ津やショートステイおてんとさん 管理者 佐藤俊一 なごみ居宅介護支援センター 管理者 小原秀和 (株)虹の街 やすらぎの郷 施設長 武田喜代子 藤里町社会福祉協議会 事務局長 菊池まゆみ</p> <p>3組目 (施設介護支援事例研究) 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦 特別養護老人ホームすこやか横手 生活相談員 綿貫 哲 介護老人保健施設三楽園 相談室室長 関谷重昭</p>

(敬称；省略)

④主任介護支援専門員研修

期 日	介護保険制度について 行政説明	主任介護支援専門員の 役割と視点	サービス展開における リスクマネジメント	ケアマネジメントと 介護支援専門員の倫理	人事・経営管理	対人援助者監督指導 (スーパービジョン)
9月26日(水) 27日(木)	(講義) 県長寿社会課 介護保険班 担当者	(講義) ケアタウン総合研究所 所長 高室成幸	(講義) ケアタウン総合研究所 所長 高室成幸	(講義・演習) ケアタウン総合研究所 所長 高室成幸	(講義) ケアタウン総合研究所 所長 高室成幸	(講義) 特別養護老人ホーム 偕生園 施設長 佐藤哲彦

期 日	対人援助者監督指導 (スーパ-ビジ-ョン)	地域援助技術	事例研究及び事例指導方法	ターミナルケア
10月 7日(日) 8日(月) 10月16日(火) 11月16日(金) 17日(土) 21日(水) 22日(木)	(講義・演習) 郡山ソーシャルワークス オフィス 代表 吉田光子	(講義・演習) ひだまりケアサービスセンター 地域管理責任者 米谷恭一	(講義・演習) 秋田看護福祉大学看護福祉学部 社会福祉学科 講師 田中志子  秋田看護福祉大学看護福祉学部 社会福祉学科 講師 高橋和幸	(講義) NPO法人在宅緩和支援センター“虹” 代表理事 中山康子

(敬称； 省略)

#### 4. 介護支援専門員研修委員会の設置・運営

介護保険制度の要として位置づけられる介護支援専門員について、介護現場において期待される役割を十分に果たすことができるよう、その支援方策、研修の進め方等について協議し、ケアマネジメントの質の向上及び地域ケア体制の構築の支援を図るため、7名の委員からなる秋田県介護支援専門員研修委員会（以下「委員会」という。）を設置し、介護支援専門員実務研修・現任研修等のカリキュラムの企画検討、研修事業のあり方等、当該事業全般のあり方及び方向性等の検討を行った。

##### 介護支援専門員研修委員会

- 委員名簿 別紙 7名  
委員長 佐藤哲彦 氏（特別養護老人ホーム偕生園 施設長）  
副委員長 赤平京子 氏（湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長）

##### ●委員会開催状況

- ・ 6月16日（土）
  - 内 容 ○今年度の研修体系について
  - 専門研修Ⅱの内容について
  - 実務従事者基礎研修について
  - 主任介護支援専門員研修について
  
- ・ 11月2日（金）
  - 内 容 ○介護支援専門員実務研修について
    - ・ 研修の実施方法について
    - ・ 演習指導方法について
  - 介護支援専門員更新について
    - ・ 実施要綱（案）について
    - ・ 更新研修の内容について
  
- ・ 2月15日（金）
  - 内 容 ○介護支援専門員実務研修（後期研修）について
    - ・ 研修の実施方法について
    - ・ 演習指導方法について
  - 平成20年度介護支援専門員研修年間予定について
    - ・ 更新研修の内容について

## 秋田県介護支援専門員研修委員名簿

（任期）平成19年4月1日～平成21年3月31日

No.	氏名	勤務先・所属名	職名
1	◎ 佐藤 哲彦	特別養護老人ホーム 借生園	施設長
2	福本 雅治	鹿角市地域包括支援センター 県介護支援専門員連絡協議会	会 長
3	松田かよ子	能代市地域包括支援センター	所 長
4	阿部奈穂美	八橋地域包括支援センター社協	副管理者
5	石川佐智子	(株) みらい	代表取締役
6	○ 赤平 京子	湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡	施設長
7	佐々木生久夫	羽後町地域包括支援センター	参 事

◎委員長

○副委員長

（順不同、敬称省略）